

令和3年度 第2回 横浜市芸能センター指定管理者選定評価委員会 会議録

- 1 日 時 令和3年11月15日（月） 10時30分～12時00分
- 2 場 所 横浜市役所18階みなと4会議室
- 3 出席者 上杉 幸雄 委員、垣内 恵美子 委員、加世田 恵美子 委員、藤崎 晴彦 委員
- 4 欠席者 無し
- 5 傍聴者 無し

6 議事内容

議題	1 令和2年度業務評価
委員意見等	<p>1 定足数の確認 委員数4名のうち4名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。</p> <p>2 本委員会の公開・非公開について 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条及び横浜市芸能センター指定管理者選定評価委員会運営要綱第9条に基づき、公開とした。</p> <p>3 審議事項「令和2年度業務評価」</p> <p>(1) 評価関係資料について</p> <p>ア 評価資料及び評価方法の確認 事務局から、評価に使用する資料、評価方法について説明があった。</p> <p>イ 指定管理者業務実績及び自己評価について 指定管理者から、令和2年度の文化事業、施設運営、維持管理及び収支決算などについて、実績及び自己評価についての説明があった。</p> <p>ウ 行政評価について 評価表に基づき、事務局から行政評価について、要点の説明があった。</p> <p>(2) 指定管理者へのヒアリング、評価・改善点の説明 委員から指定管理者に対する質疑及び評価内容（評価する点、更なる取組を期待する点）の説明を行った。</p> <p>《評価内容の説明》 「I文化事業①②」について</p> <p>《質疑》 委員 コロナ禍での新たな観客層の開拓など、今後に向けて変化を感じたという説明があったが具体的には、 指定管理者 コロナ禍では若い方が観客として来場し、寄席芸以外の演目でも手ごたえを感じた。また、良いものを短時間で楽しみたいという傾向にあるので、今後の公演企画の参考としたい。</p>

委員 公演アンケートのデジタル化は一般的に回収率が低い傾向にあるが、この点はどうだったか。

指定管理者 ウェブアンケートは多くても10件ぐらいの回収だったが、プレゼント付きのアンケートを行った8月は248件集まった。観客の反応を見たい公演に合わせて、こうした形で実施していきたい。

【評価する点】

- ・コロナ禍においても新機軸を含めた多種多様な公演を実施し、演者の活動と修業の場を確保したことを高く評価する。首都圏では公演の少ない上方落語を毎月取り上げた点や、観客を引き付ける公演のネーミングなど、十分に工夫がなされている。
- ・スタッフの意見を活かしながら常に業務改善を行っており、新型コロナウイルス感染症対策にも臨機応変に対応した点を評価する。
- ・NHK文化センターランドマーク教室との新たな連携が生まれ、オンラインでの事業が始まったことは良い取組である。
- ・電子大福帳は前座のネタも含めて詳細に記録されており、将来的に資料価値のある取組であり大変高く評価する。

【更なる取組を期待する点】

- ・身体的・経済的な理由等で劇場に足を運べない人などに対し、敷居の低い入門編など幾つかテーマを選んでデジタルコンテンツを作成することにも挑戦してほしい。
- ・文化観光推進法では、単に観光客を増やすことだけでなく、その文化を理解してもらうことを目的としている。文化観光の拠点として、この点を踏まえて、地域連携にも取り組んでほしい。

「Ⅱ施設運営」及び「Ⅲ維持管理」について

【評価する点】

- ・スタッフ一丸となって感染対策を工夫しながら運営した点を高く評価する。
- ・SNSを活用して施設の空き情報を積極的に発信するなど利用促進に努めている。
- ・維持管理は法令どおり行われており、優先順位に基づいた小破修繕に取り組むなどして、事故なく運営した点を評価する。

【更なる取組を期待する点】

- ・SNSなどのデジタル活用には専門性を持った人材の育成や体制の構築が必要になると思うので取り組んでほしい。
- ・災害時に備えてマニュアルの整備や見直しを行うほか、災害時を想定した訓練にも取り組んでほしい。
- ・郵便物の誤送付の再発防止に向けて、実効性ある仕組みの改善を行ったうえで、研修を実施することが必要である。
- ・備品・消耗品購入や修繕において市内中小企業への発注率が低いが、不測の事態に対応できるよう関係を強化してほしい。

- ・築20年が経過しているので、管理組合や横浜市と連携して、維持保全に努めてほしい。

「IV収支」について

【評価する点】

- ・コロナ禍では、集客力の大きさを収益を上げている施設ほど打撃を受けた。にぎわい座もその一つだと思うが、その収益は一般的な文化施設の傾向と比べても、かなり努力した数字だと評価している。

【更なる取組を期待する点】

- ・光水熱費は外的要因により増えており、今後も上がり続けると言われている。ビル全体として節電の取組を行うなど、光水熱費の抑制を期待したい。
- ・感染症対策物品については、当面必要になると考えられ、価格が高騰する場合もあるので、継続的に備蓄に取り組むことも必要ではないか。
- ・オリジナル商品を展開しているが、ネット販売など工夫に取り組んでほしい。
- ・人材育成、若手発掘、アウトリーチなど、将来への投資については厳しい状況の中でも継続してほしい。その成果はいずれ大きく収益となって表れてくると思う。

「総括」について

- ・感染症対策等に取り組みながら着実に事業を実施したことが一番評価できる。人流が止まるなど社会全体に大きな行動変容が見られたなかでも、今後につながるオンラインの活用、新たな分野での事業展開や顧客層の獲得など、うまく発展できている。
- ・将来に向けた人材育成やアウトリーチ等の部分が非常に進んだところは特に高く評価できる。
- ・ツイッター等をより活用し、にぎわい座を知るきっかけづくりをしっかりと進めた点は評価できる。コロナ禍において世間ではあらゆる面でオンライン化が広がった。にぎわい座でもこうした事業展開がみられるが、この時代の流れに合わせた取組を一層期待したい。

3 まとめ

本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを改めて清書し、事務局で調整の上、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。